シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	工場経営

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・板金、塗装工場の経営、運営について、生産性指標、納期管理、関連法規などの知識について学ぶ。 ・将来、自ら工場経営を行う立場になると考え、知識を学ぶ。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	板金・塗装工場の経営、運営について、生産性指標、納期管理、関連法規などの知識を習得でき、 将来の工場経営に活用できる。
3.使用教科書、準備品	プリント
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている △　車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
3	3	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	工場経営	BP工場の経営、運営についての知識を理解する。	543	3

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	板金

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・自動車の内板、骨格の構造や事故時の衝撃波及を学ぶ。 ・ボデー寸法計測の知識、ボデーアライニングの知識を学ぶ。 ・教科書の実施範囲を事前に読んでおくことが望ましい。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・自動車の構造や衝撃波及をの知識を学ぶことで、安全・正確に損傷把握ができる。 ・ボデーアライニングに使用する機材、機器の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ボデー＆ペイントテキスト　ステップ３　ボデー編 プリント
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
9	8	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ボデー修理の基本要素	乗用車のボデー構造、内板・骨格の構造を理解する。	543	1
学科	ボデー修理の基本要素	衝撃力と損傷、損傷の種類、鋼板の特性を理解する。	543	1
学科	ボデー修理の基本要素	衝撃吸収部位、衝撃波及について理解する。	543	1
学科	パネル交換	骨格部品交換の概要について理解する。	543	1
学科	ボデーアライニング	損傷把握方法について実車と基に理解する。	543・53	1
学科	ボデーアライニング	ボデーの寸法計測について実車を基に理解する。	543・53	1
学科	ボデーアライニング	フレーム修正機の取り扱い、独立フレームの修正方法について理解する。	543・53	1
学科	復習	今回学んだことを復習する。	543	1

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	後期	塗装

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・３コートパールマイカ塗色の概要、調色や塗装の留意点を学ぶ。 ・塗膜不具合現象と補修方法を学ぶ。 ・教科書の実施範囲を事前に読んでおくことが望ましい。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・３コートパールマイカ塗装を学び、安全・正確に塗装ができる。 ・塗装不具合の発生原因と補修方法を理解し、不具合を起こさない塗装と不具合発生時の対処ができる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ボデー＆ペイントテキスト　ステップ３　ペイント編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
9	8	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ペイント修理の基本要素	塗膜不具合の概要を理解する。	543	2
学科	ペイント修理の基本要素	塗膜不具合現象と補修方法を理解する。	543・531	3
学科	調色	パールマイカ塗色の特徴と条件による色の変化を理解する。	543	1
学科	調色	パールマイカ塗色の調色作業の留意点を理解する。	543	1
学科	上塗り	パールマイカ塗色の塗装作業の留意点を理解する。	543	1

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	大ダメージ補修技術

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・車両前部、後部のダメージについての板金補修技術を学ぶ。 ・板金補修後のマスキング、上塗りの塗装補修技術を学ぶ。 ・教科書の実施範囲を事前に読んでおくことが望ましい ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ダメージを受けた車両補修を行うことで、より実践的な作業ができる。 ・大ダメージ補修に使用する機材、機器の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス　ボデー＆ペイントテキスト　ステップ３　ボデー編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	中間のレポート：10点　、　期末のレポート：10点 中間試験：40点　、　期末試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
172	0	170	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	ボデーアライニング	損傷把握の方法を理解する。	53F	3
実習	ボデーアライニング	フレーム修正機へのボデーセット方法を理解する。	53F	12
実習	ボデーアライニング	寸法計測の方法を理解する。	53F	4
実習	ボデーアライニング	ボデーアライニングの方法と注意点を理解する。	53F	12
実習	パネル交換	パネル取り外し方法を理解する。	53F	6
実習	パネル交換	ボデーと新パネルの接合部修正方法を理解する。	53F	6
実習	パネル交換	新パネルを取り付ける準備方法を理解する。	53F	6
実習	パネル交換	新バックパネルの取り付け方法と注意点を理解する。	53F	12
実習	パネル交換	取り付け部品の防水防錆処理方法を理解する。	53F	6
実習	塗装	マスキング方法や上塗り塗装方法を理解する。	53F	6
実習	最終組付け	各部品の組付けや建付け作業について理解する。	53F	12
実習	ボデーアライニング	損傷把握の方法を理解する。	53F	3
実習	ボデーアライニング	フレーム修正機へのボデーセット方法を理解する。	53F	12
実習	ボデーアライニング	寸法計測の方法を理解する。	53F	4
実習	ボデーアライニング	ボデーアライニングの方法と注意点を理解する。	53F	12
実習	メンバー交換	メンバー取り外し方法を理解する。	53F	6
実習	メンバー交換	ボデーと新パネルの接合部修正方法を理解する。	53F	6
実習	メンバー交換	新メンバーを取り付ける準備方法を理解する。	53F	6
実習	メンバー交換	新サイドメンバーの取り付け方法と注意点を理解する。	53F	12
実習	メンバー交換	取り付け部品の防水防錆処理方法を理解する。	53F	6
実習	塗装	マスキング方法や上塗り塗装方法を理解する。	53F	6
実習	最終組付け	各部品の組付けや建付け作業について理解する。	53F	12

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	後期	大ダメージ補修技術

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・車両側部のダメージについての板金補修技術を学ぶ。 ・板金補修後のマスキング、上塗りの塗装補修技術を学ぶ。 ・教科書の実施範囲を事前に読んでおくことが望ましい ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ダメージを受けた車両補修を行うことで、より実践的な作業ができる。 ・大ダメージ補修に使用する機材、機器の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス　ボデー＆ペイントテキスト　ステップ３　ボデー編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
136	0	135	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	ボデーアライニング	損傷把握の方法を理解する。	53F	3
実習	ボデーアライニング	フレーム修正機へのボデーセット方法を理解する。	53F	6
実習	ボデーアライニング	寸法計測の方法を理解する。	53F	5
実習	ボデーアライニング	ボデーアライニングの方法と注意点を理解する。	53F	24
実習	パネル交換	パネル取り外し方法を理解する。	53F	12
実習	パネル交換	ボデーと新パネルの接合部修正方法を理解する。	53F	6
実習	パネル交換	新リインフォースを取り付ける準備方法を理解する。	53F	10
実習	パネル交換	新リインフォースの取り付け方法と注意点を理解する。	53F	12
実習	パネル交換	新アウタパネルを取り付ける準備方法を理解する。	53F	6
実習	パネル交換	新アウタパネルの取り付け方法と注意点を理解する。	53F	24
実習	パネル交換	取り付け部品の防水防錆処理方法を理解する。	53F	6
実習	塗装	マスキング方法や上塗り塗装方法を理解する。	53F	15
実習	最終組付け	各部品の組付けや建付け作業について理解する。	53F	6

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	後期	高度塗装技術

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	関西ペイント（専門家）

1.授業概要と履修前提	・３コートパールマイカ塗色の調色、上塗り作業全般を学ぶ。 ・教科書の実施範囲を事前に読んでおくことが望ましい。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・塗装技術を学ぶことで、３コートパールマイカ塗装の一連の作業ができる。 ・３コートパールマイカ塗装に使用する機材、機器の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ボデー＆ペイントテキスト　ステップ３　ペイント編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている

5.評価方法		授業時間	学科	実習	試験
	レポート：20点				
	定期試験：80点	55	0	54	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	調色	カラーベース、マイカベースの計量調色方法を理解する。	53F	2
実習	調色	スプレー塗りによる微調色方法を理解する。	53F	2
実習	調色	ターゲット色に合わせた微調色の実践から特性を理解する。	53F	14
実習	ブロック塗装	パネルへのブロック塗装方法を理解する。	53F	3
実習	ブロック塗装	今回学んだことを繰り返して作業し、理解を深める。	53F	15
実習	スポット塗装	パネルへのスポット塗装方法を理解する。	53F	3
実習	スポット塗装	今回学んだことを繰り返して作業し、理解を深める。	53F	15

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	新技術、安全装置

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・予防安全装置(トヨタセーフティセンスなど)の関係部品について学ぶ。 ・予防安全装置(トヨタセーフティセンスなど)のセンサーエイミング作業について学ぶ。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・センサーエイミング作業に使用する機材、機器の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。 ・予防安全装置に関する部品の脱着が、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	・プリント
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている ◎　新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている

5.評価方法		授業時間	学科	実習	試験
	レポート：20点				
	定期試験：80点	17	0	16	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	安全装置	予防安全装置の基本機能、パッケージ内容を理解する。	543	1
実習	安全装置	予防安全装置のセンサー及びカメラの知識を理解する。	543	2
実習	安全装置	センサー及びカメラ付近の補修における注意点を理解する。	543	1
実習	安全装置	センサーの脱着方法について理解する。	33A	3
実習	安全装置	ミリ波レーダーセンサの光軸調整方法を理解する。	33A	3
実習	安全装置	フォワードレコグニッションカメラの調整方法を理解する。	33A	3
実習	安全装置	ブラインドスポットモニタセンサの光軸調整を方法を理解する。	33A	2
実習	安全装置	ウルトラソニックセンサの角度登録について理解する。	33A	1

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	後期	新技術、安全装置

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・アルミパネルの補修技術を学ぶ。 ・アルミ溶接の機材の知識や技術を学ぶ。 ・高張力鋼板の特徴を学ぶ。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・アルミパネル補修の方法を理解し、安全・正確に作業できる。 ・アルミ溶接に使用する機材の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。 ・高張力鋼板の特徴や作業の留意点を理解し、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	・自動車整備技術　車体整備
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている ◎　新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
21	0	20	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	新技術	アルミニウム合金の特徴を理解する。	543	1
実習	新技術	アルミニウム合金の溶接方法を理解する。	543	2
実習	新技術	TIG溶接機の取り扱い方法を理解する。	53F	1
実習	新技術	MIG溶接機の取り扱い方法を理解する。	53F	1
実習	新技術	各溶接機を使い、アルミ溶接の技術を修得する。	53F	6
実習	新技術	アルミ合金パネルの修理方法を理解する。	53F	4
実習	新技術	今回学んだことを繰り返して作業し、理解を深める。	53F	4
実習	新技術	高張力鋼板の特徴と作業留意点を理解する。	543	1

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	ＦＲＰ成型

教員（実務経験）	森脇　公起（専門家）	

1.授業概要と履修前提	・本型作成、雌型作成、製品作製のFRP成型技術を学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・小物部品作成から学生フォーミュラのカウル作製とステップアップすることで、FRP成型技術を身につける。 ・FRP成型に使用する機材、機器の使用方法、注意点を理解し、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている ◎　車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
205	0	204	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	FRP成型	FRP成型の基本作業を修得する。	543・53	24
実習	FRP成型	車両パーツを複製することで、FRP成型技術を修得する。	543・53	60
実習	FRP成型	学生フォーミュラのカウルを作製し、高度な作製技術を修得する。	543・53	120

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	カーディテイリング

教員（実務経験）	マテックス（専門家）	

1.授業概要と履修前提	・ボデーコーディングなどの各種コーティング技術を学ぶ。 ・カーラッピング技術を学ぶ。 ・ガラスリペア技術を学ぶ。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・各種コーティングの方法や機材の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。 ・カーラッピングの方法や機材の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。 ・ガラスリペアの方法や機材の使用方法を理解し、安全・正確に作業できる。
3.使用教科書、準備品	・プリント
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている ◎　車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点　、　レポート：10点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
61	0	60	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	カーケア	カーケアビジネスの市場動向、カーケア商品を理解する。	543	1
実習	カーケア	喜ばれる洗車の方法、使用機材について理解する。	53F	2
実習	カーケア	各種コーティング方法、使用機材について理解する。	53F	3
実習	カーケア	カーラッピング方法、使用機材について理解する。	54F	3
実習	ガラスリペア	ガラスリペアの使用機材について理解する。	543	1
実習	ガラスリペア	ガラスリペアの作業方法について理解する。	543	6
実習	カーケア	洗車、各種コーティングについて学んだことを復習する。	53F	41
実習	ガラスリペア	ガラスリペアについて学んだことを復習する。	543	3

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	板金習熟

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・溶接技術を習熟する。 ・パテ整形作業を習熟する。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・突き合わせ溶接、プラグ溶接を習熟することで、実践能力を身につける。 ・パテ整形作業を習熟することで、実践能力を身につける。
3.使用教科書、準備品	・専攻科時代の溶接レポート、パテ整形レポート
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
28	0	26	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	溶接	薄板鋼板の突き合わせ溶接を習熟する。	53F	2
実習	パテ整形	複合面でのパテ整形を習熟する。	53F	8
実習	習熟	前期中間期間に学んだ内容を習熟する	543	1
実習	溶接	薄板鋼板のプラグ溶接を習熟する。	53F	2
実習	パテ整形	単純面でのパテ整形を習熟する。	53F	12
実習	習熟	前期期末期間に学んだ内容を習熟する	543	1

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	後期	板金習熟

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・溶接技術を習熟する。 ・パテ整形作業を習熟する。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・各種溶接作業を習熟することで、実践能力を身につける。 ・パテ整形作業を習熟することで、実践能力を身につける。
3.使用教科書、準備品	・専攻科時代の溶接レポート、パテ整形レポート
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
41	0	40	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	溶接	薄板鋼板の各種溶接方法を習熟する。	53F	16
実習	パテ整形	単純面、複合面でのパテ整形を習熟する。	53F	21
実習	習熟	後期期間に学んだ内容を習熟する	543	3

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	前期	塗装習熟

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・下地処理作業を習熟する。 ・ソリッドカラー、メタリックカラーの調色や上塗り塗装を習熟する。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・下地処理、マスキングなど塗装準備作業を習熟することで、実践能力を身につける。 ・ソリッドカラー、メタリックカラーの調色や上塗り塗装を習熟することで、実践能力を身につける。
3.使用教科書、準備品	・専攻科時代の下地処理レポート、各上塗り塗装レポート
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
28	0	26	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	下地処理	下地処理、マスキング作業を習熟する。	53F	5
実習	塗装	ソリッドカラーの調色、上塗り塗装を習熟する。	53F	5
実習	習熟	前期中間期間に学んだ内容を習熟する	543	1
実習	下地処理	下地処理、マスキング作業を習熟する。	53F	3
実習	塗装	メタリックカラーの調色、上塗り塗装を習熟する。	53F	9
実習	習熟	前期期末期間に学んだ内容を習熟する	543	3

シラバス	車体整備研究科		
	2026年度	後期	塗装習熟

教員（実務経験）	和出　太一郎（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・下地処理作業を習熟する。 ・各種カラーの調色や上塗り塗装を習熟する。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・下地処理、マスキングなど塗装準備作業を習熟することで、実践能力を身につける。 ・ソリッドカラー、メタリックカラーの調色や上塗り塗装を習熟することで、実践能力を身につける。
3.使用教科書、準備品	・専攻科時代の下地処理レポート、各上塗り塗装レポート
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　車体骨格部位に至る損傷の修復や３コートパール塗装など中級、上級レベルの車体整備の技能を身につけている 新素材等による車体修理技術の高度化や衝突安全装置などの新技術に対応した知識・技術を身につけている 車体整備事業に付帯するカーディテイリング等の周辺作業やＦＲＰ成型に関わる技術・知識を身につけている
5.評価方法	レポート：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
41	0	40	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	下地処理	下地処理、マスキング作業を習熟する。	53F	12
実習	塗装	各種カラーの調色、上塗り塗装を習熟する。	53F	26
実習	習熟	後期期間に学んだ内容を習熟する	543	2